

## 会員サイト公開用 役員活動報告書

名 前	高橋哲也
担当業務	副会長 令和 8 年度報酬改定対策強化推進部会 部会員 公衆衛生等理学療法業務構築・検討部会 部会長 DX 及び AI 推進啓発促進事業

内 容			
日 付	他団体	会議名	場所
1月6日		常任理事会	Web
1月10日		第7回理事会	協会会館
1月13日		常任理事会	Web
2月3日		常任理事会	Web
2月8日		第4回理事懇談会	協会会館
2月10日		常任理事会	Web
2月11日		令和7年度急性期理学療法推進フォーラム	協会会館
2月17日		常任理事会	Web
2月24日		常任理事会	Web
2月24日		第7回業務執行理事会	Web
2月25日		第1回 DX 及び AI 推進啓発推進部会	Web
3月3日		常任理事会	Web
3月7日		第8回理事会	Web
3月9日		U40 Future Network で講演	Web
3月10日		常任理事会	Web
3月10日		厚生労働省医政局医事課と打ち合わせ	厚生労働省
3月12日		看護・多職種協働加算 意見交換	日本看護協会
3月16日		令和8年度診療報酬改定 振り返りの会	Web
3月17日		常任理事会	Web
3月18日		衆議院議員 田村憲久 第17回社会保障勉強会	ニューオータニ
3月24日		常任理事会	Web
3月24日		第8回業務執行理事会	Web
3月25日		意見交換会 酒井医療	協会会館
3月31日		常任理事会	Web

<p>所感</p>	<p>第4期においては、第3期で培った情報収集基盤とネットワークを基に、各種会議体への継続的な参画に加え、より主体的に議論形成および方向性の提示に関与することを意識して活動を行った。理事会、常任理事会、業務執行理事会等においては、単なる情報共有にとどまらず、理学療法の将来的な役割や制度設計を見据えた意見発信を行い、協会としての意思決定プロセスへの関与を深めた。</p> <p>特に、診療報酬改定や多職種連携、急性期リハビリテーションのあり方に関する議論においては、臨床および研究の知見を踏まえた具体的な発信を行い、理学療法士の職域拡張および質の担保に向けた視点を提示した。また、DX および AI 推進啓発推進部会の初回会合を通じて、デジタル技術の活用が理学療法の質・効率・可視化に与える影響について整理し、協会として取り組むべき方向性の明確化に寄与した。</p> <p>さらに、国会議員や関係団体との意見交換、議員連盟への参画を通じて、政策提言機能の強化に努めた。理学療法士の役割や価値を社会に発信する重要性を再認識し、エビデンスと現場実態を踏まえた発信の必要性を強く意識するに至った。</p> <p>第4期は、情報収集中心であった第3期から一歩進み、課題の構造化と具体的提案を通じて、協会運営および政策形成に一定の役割を果たすことを目指した期間であった。今後は、これらの経験を基盤として、より実効性のある政策提言と実装に結びつけていくことが求められると考えている。</p>
<p>報告日</p>	<p>2026年4月15日</p>

※「他団体」に○がついている項目は、本会役員として他団体に関与しているものです。